



QRコードから第1給水場の
地図が出てくるよ♪



市の花:アジサイ

習志野市の水道施設のはじまりはこの第1給水場から。
最も歴史の古いこの施設を紹介します。

第1給水場



市の木:アカシア

水道施設の心臓部。



第1給水場の役割

第1給水場は現在稼働している習志野市企業局の17本の井戸のうち、8本分の地下水を集めています。そして、この地下水を浄水(消毒・ろ過すること)した後、北千葉広域水道企業団から購入した江戸川の表流水(川を流れる水のこと)と混ぜ合わせて市内すべての給水場へ24時間365日送水しています。

このため、第1給水場は市営水道施設にとって心臓のような役割を果たしています。



急速ろ過機の中身(模型)

急速ろ過機

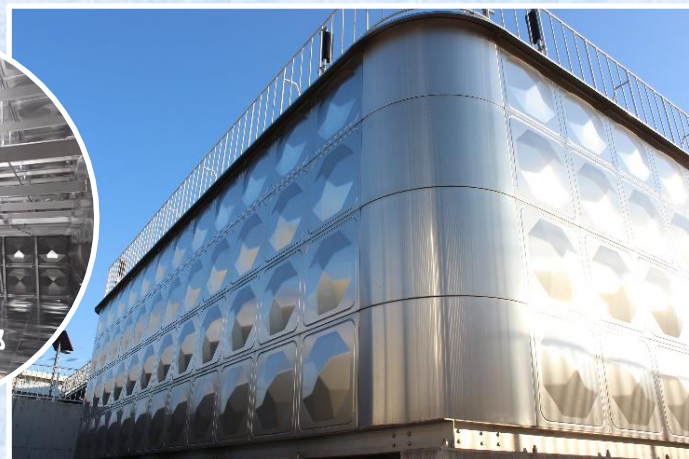
地下水を塩素という薬品を使って消毒した後、この装置でろ過します。急速ろ過機の中身は砂と砂利の層になっていて、鉄分やマンガンなどを取り除き、きれいな水をつくり出しています。



浄水池の内部

浄水池

浄水(消毒・ろ過)を終えた地下水と江戸川の表流水をこの浄水池の中で混ぜ合わせています。



容量:700m³×1基 425m³×1基 合計1,125m³
これは、学校の25mプール約4杯分の容量です。